

行田税務連絡協議会長賞 優秀

## 税がつなぐ、未来の日本

加須市立加須平成中学校

三年 吉村 みのり

一人暮らしをしていた私の祖母は、六月に転倒して腰を骨折し、二ヶ月間入院していた。医師からは「もう一人暮らしは厳しい」と言われ、仕事で忙しい母や母の兄弟たちが困惑していた時、病院の福祉担当の方やケアマネージャーさんが、「介護老人保健施設」を紹介してくれた。食事やお風呂、運動など、自分一人するのが困難になり、見守りが必要な状態の祖母には、安心して快適な場所である。また、年金で暮らす人でも入れるような良心的な金額なのだそうだ。

日本では、国民が納める税金により、医療や福祉などが、子どもやお年寄りには特に手厚く受けられるようになってしていると聞いている。私と二人の妹は小さい頃から喘息がひどく、頻繁に病院に通っては吸入をしたり、大量の薬をもらってきたりした。ありがたいことにその治療費は、こども医療費助成制度により、無償である。

このように、弱者に対して使われている税金制度を誇りに思う。他には、人々から集めた税金をどんなことに使っているだろうか。無償で配布される義務教育時代の教科書、公務員の給与、学校や道路の建設やその整備など。そういえば、選挙の公約で、「消費税を無くす!」とか、「現金を給付する!」とか言っていたのも、国民の納める税金の

使い道についての事なのだから、日本の政治の中でも「税金」は大きな位置を占めていると言える。

「少子化問題」を解決するための対策も様々挙げられるが、未来の日本を支える子どもの出生率が低下し、高齢化が急速に進んでいる事はとても深刻な課題である。子供を安心して産み、育てられる環境が整い、経済的にも補償されなければ、ただでさえ大変な子育てを進んで引き受ける人は減るに決まっているのである。そして生まれた子供も、安全な場所で、健康的に、誰もが平等に学べる環境に置かれるべきである。

今年受験生の私は、来年度大きく改定する私立高校の授業料無償化の恩恵を受けることになるだろう。経済的に困窮している家庭にも優秀な子供や勉強したいと思っている子供もいるはずだ。行きたい高校に行って、精一杯学ぶことができれば、将来、日本を支える立派な大人になるかもしれない。

税金によって支えられた私達は、将来しっかりと税金を納め、次世代につなぎたい。そして自分自身の百年時代の人生をも有意義で幸せに生きたいと願う。